

災害時を想定した 物資輸送訓練を実施しました in 石垣市



No.11

ひとたび、地震・津波等の大規模災害が発生し、多数の方が避難所生活を長期間強いられる状況となれば、各避難所に食料等の支援物資を継続的に輸送することが必要となります。

その災害が八重山圏域で発生した場合、島外からの支援物資をどのように受け入れ、石垣島内の避難所はもとより、点在する離島の避難所に、どのように届けることができるでしょうか。今回、沖縄県、石垣市、竹富町、与那国町並びに沖縄総合事務局が共同して11月10日、石垣市中央運動公園屋内練習場で「支援物資輸送訓練」を実施しました。

【今回の訓練の想定】

八重山圏域で大規模災害が発生し、石垣市、竹富町、与那国町の全てのエリアを合算した物量の支援物資が本土から石垣港に運ばれてきた。

【訓練で主に確認した点】

① 石垣港に到着した全ての支援物資を、一旦、一括して受け入れる施設が必要。また、その施設で「荷ほどこき」、目的地ごとに物資の「仕分け」、トラックへの「積み込み」等の作業が発生する。今回の訓練会場である屋内練習場は、適当な施設か。

② 国、県、市町担当者のそれぞれの動きは、連携できるか。

【訓練を行って分かったこと】

① について

広さ・今回の訓練では、大型トラック2台分の物量で作業を行ったが、日頃から石垣港に就航している貨物船は最大で大型トラック300台の搭載が可能であるため、同施設のみでは許容量オーバー。

使い勝手・出入口の高さの関係上、大型車両を同施設の屋内に入らせることはできなかったが、フォークリフトがあれば荷物の積み下ろしに支障はなかった。

災害時の物流に特化した対策本部を、当施設内に設置することが可能であることが確認できた（迅速な指揮命令を実現できる環境）。

② について

今回、多くの職員が参加したことから物資の流れは円滑なものであった。

実際の被災時には、少人数での運営となることが予想されるため、少人数でも運営できる体制の検討が必要。

今回の訓練の反省も活かし、今後も災害時の物資輸送対策等に取組んでまいります。



石垣市・竹富町・与那国町の避難所へ物資搬出



荷ほどこき・荷捌き作業



お問合せ先
運輸部 総務運航課
098-866-1836